

神河（教委）第 347 号

令和 7 年 10 月 16 日

神河町学校教育審議会会長 様

神河町教育委員会

教育長 中野 憲二

神河町立小学校及び中学校の今後の在り方について（諮問）

標記の件につきまして、神河町学校教育審議会設置要綱第 2 条の規定により諮問します。

諮問理由

神河町では、第 4 期かみかわ教育創造プランに示した教育理念「ふるさとを愛し ころ豊かで自立する 神河の人づくり」に基づき、教育環境を整え、学校教育の充実に取り組んでいるところです。

しかしながら、全国的に少子化が進む中、本町においては近年出生者数が急減しており、児童生徒数の減少・学校の小規模化がさらに進むことが予測されています。

このような中、本町の子どもたちにより良い教育環境を提供するためには、どの程度の学校規模で教育を行うのが望ましいのか、またそれを実現するためにはどのような手法が必要なのか、などを検討することが求められています。

ついては、下記の項目について幅広い観点からご審議・ご検討の上、本町の実情に即してご提案いただきたく諮問をお願いするものです。

記

- 1 神河町立小学校・中学校の望ましい学級数、望ましい 1 学級当たりの人数
- 2 神河町立小学校の校区の考え方
- 3 神河町立小学校及び中学校における小中連携・接続の考え方